

科目ナンバリング		U-LAS30 10001 SJ11							
授業科目名 <英訳>	情報基礎演習 [全学向] Practice of Basic Informatics (General)			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 教授 人間・環境学研究所 教授	喜多 一 日置 尋久			
群	情報学科目群		分野(分類)	(基礎)		使用言語	日本語		
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習 (対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	金5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
<p>パーソナルコンピュータ (PC) 利用経験の浅い学生を主に対象として、コンピュータや大学の情報資源を学術的活動で活用するための基礎的な知識と技能を修得する。内容はパーソナルコンピュータの基本的な操作法、情報ネットワークと情報セキュリティ・情報倫理、学内の情報サービスの利用、情報検索の方法、表計算ソフトによるデータ処理、ワードプロセッサによるレポート作成、プレゼンテーションスライドの作成と発表の技法、コンピュータを自在に操るために必要となるプログラミングの基礎である。</p>									
[到達目標]									
<ul style="list-style-type: none"> ・ パーソナルコンピュータのOSとネットワークの利用の基礎的な操作と安全な利用のスキルを得る。 ・ 大学図書館が提供している情報とその利用法を知る。 ・ 学術的な文章をワードプロセッサで作成するために必要な概念と操作技能を得る。 ・ 表計算ソフトを用いてデータ処理を行う基礎的技能を得る。 ・ プレゼンテーションソフトを用いて学術的プレゼンテーションを行う基礎的技能を得る。 ・ コンピュータがプログラムによって動くことについて、実際のプログラミングを通じて体験的に知る。 									
[授業計画と内容]									
<p>おおよそ以下の内容について学習する予定である。 なお初回はガイダンスも行う。</p> <p>大学の情報サービスの利用とコンピュータの基礎 (1週、担当：喜多)</p> <p>情報の探索(1週、担当：喜多)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学術情報の流れと併せ、図書館が提供する情報源を中心に、情報探索法の基本を概説する。(協力：附属図書館研究開発室教員，附属図書館・吉田南総合図書館職員) <p>知的生産でのコンピュータの活用(7週、担当：喜多)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報ネットワークとその適正な利用、知的生産について (1週) ・ データ分析の基礎 (Excel) (2週) ・ 文書の整形と構造化 (Word) (2週) ・ プレゼンテーション資料作成の基礎(PowerPoint)(2週) <p>プログラミングの基礎(4週、担当：日置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラミングの概要 ・ タートルグラフィクスによるプログラミングの体験 ・ 変数によるデータのモデル化 ・ 繰り返しと条件に基づく処理 									
----- 情報基礎演習 [全学向] (2)へ続く -----									

情報基礎演習 [全学向] (2)

フィードバック (1週、担当：喜多、日置)

【履修要件】

所属学部のクラス指定の「情報基礎演習」が開講されている場合は、[全学向]の「情報基礎演習」を履修しても卒業要件を満たす科目として認められないことがあるので、各自で所属学部に必ず確認すること。

ノートPCを持参して履修すること。

【成績評価の方法・観点】

トピックごとに提出を求める課題・レポートで評価する。レポートは授業で学習したポイントを踏まえているかどうか、記述が明解かどうかなどによって評価する。課された課題、レポートについて、評点を合計したものを成績とする。

【教科書】

喜多、北村、日置、酒井 『情報基礎演習 2024』 (出版はされていません。オンライン版を授業で提供します。)

このほか授業支援システム PandA での資料配布およびプリントの配付をする。

【参考書等】

(参考書)

教科書に記載されているもののほか、必要に応じて授業中に指示する。

【授業外学修 (予習・復習) 等】

授業時間外の学習としては、トピックごとに提出を求めている課題・レポートについて取り組むことを求める。

【その他 (オフィスアワー等)】

人数制限あり。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認すること。

情報環境機構が提供する情報セキュリティe-Learningを必ず受講し、修了テストを受けた上で、同テストのフィードバックを確認しておくこと。授業内では受講のための時間は設けないので授業時間外に受講しておくこと。同e-Learningは学生も含めた本学の全構成員に対して毎年受講が求められているものである。2回生以上で過去の年度に受講した場合でも今年度まだ受講していないのであれば必ず受講すること。